

CDC 所長がワクチンパスポートが無意味だと認めたのは、 単なる偶然？

By The Last Refuge / Infowars

August 8, 2021

<https://www.infowars.com/posts/did-the-cdc-director-just-accidentally-admit-that-vaccination-passports-are-futile/>

彼らは今、物語をでっちあげているに過ぎない。そしてメディアはそのことを全く取り上げていない。…

CDC（米疾病予防管理センター）所長は、きょう、CNN へのインタビューで、ある重大なことを認めた。CDC 所長 Rochelle Walensky は、ワクチンは Covid-19 感染を防止することもなく、ワクチン接種を受けた人を、伝染やデルタ変種から保護したりしないと明言した。

ワレンスキー所長によれば、今、ワクチンのもつ唯一の利点は、それがその症状の厳しさを軽減することだけである。

もしワクチンを受けた人と、受けていない人が、同じ能力をもっているとして、徴候のあるなしに関わらず、同じようにウィルスを撒き散らしたり移したりするなら、ワクチン接種パスポートや、ワクチン接種 ID に、どのような違いが生ずるだろうか？

The CDC Today によれば、ワクチンを受けた人も受けていない人も、レストランや 商店や、グループや、接触や仕事の場に足を踏み入れる人々は、そこにいる他の人々に、全く同じリスクを与えている。だとすれば、ワクチンを受けた証拠を提示することに、どんな意味があるだろうか？

注意：

（アップデート——グーグルがビデオを消去したが、私が Rumble に置き換えた。）

ワクチンを受けた無症状の人が、ワクチンのおかげで無症状状になっているという、**どんな証拠もない**。ワクチンありの人々と全く同じの数の、無症状の、ワクチンなしのウィルス所有者がいると考えられる。データの示すところでは、ワクチン接種率に関係なく、同等に配分された感染が存在し、これはワレンスキー所長によって同時に存在すると認められたもので、結果としてそれは、強制的ワクチンの議論全体を切り崩すものである。

その逆もまたデータに明らかである。**無ワクチンの、症状ある（病気の）ウィルス保有者は、有ワクチンの、症状ある（病気の）ウィルス保有者と、同等の数で存在する**。ワクチンを受けた入院者と、受けていない入院者の割合は、その病院の周囲の、ワクチンある・なしの人口率と同じである。

極端に高いワクチン接種率をもつ地方人口において、COVID 感染率は減少することなく継続する。

ワクチンを受けた入院患者のパーセンテージは、その共同体でワクチンを受けた人々のパーセンテージと同じである。

ジブラルタルでは、人口の 99%がワクチン接種を受けたが、COVID 感染率は上昇している。アイスランドでは、人口の 75%以上がワクチン接種を受けたが、感染率は上昇している。シンガポールやイスラエルでも、同じことが起こっている。**[データ・セットはここを見よ。 <https://nworeport.me/2021/07/30/gibraltar-iceland-see-massive-covid-spike-despite-over-90-of-population-vaccinated/> とすれば、ワクチン接種パスポートにどんな価値があるのか？**

[Greatchain 訳注]

ワレンスキー（女史）所長は、少し前に「科学に変更があった」と言って、ファウチとの間に齟齬のあるらしい様子を示した人だが、今回は、正直に事実を認めているようである。——ワクチン接種に全く意味はない（ただ罹った場合、その症状の厳しさを軽減する）と言っているが、これはワクチン接種に伴う、重度の副作用や相当数の死亡例を抜きにした話だから、そのことを承知の上で、現在の、強制ワクチン+パスポート運動を評価しなければならない。

次のフランスの抗議運動を参照：——

仏全土の数十万人が、マクロンの Covid-19 保健証や強制ワクチン接種に抗議

By RT (Russia Today)

August 8, 2021

<https://www.infowars.com/posts/hundreds-of-thousands-protest-across-france-over-macrons-covid-19-health-pass-mandatory-vaccination/>

何千という人々が、フランス諸都市の大通りにあふれた。彼らは、一般市民に対する、命令 Covid-19 保健パスや、特定の範疇の人々に対する強制ワクチン接種の、実現化に反対する抗議の人々だった。

大抗議集団が、土曜日、フランスの数か所の都市から出発し、数千の人々が、反コロナウイルス規制を強化しようとする政府計画に対し、非難の声を上げた。

大規模な行進がパリで行われ、参加者たちは、大勢の警察官に付き添われていたことを、RT のビデオ局 Ruptly の映画は示している。

最初の緊張は、パリの PassSanitaire に対するデモのときだった。安全保障部隊は、機動憲兵隊の非常線を突破しようとするデモ隊に向かって、ガスを使用しようとした。

この国全体の他の都市でも、大きな抗議の演技が行われた。巨大な抗議者の柱が、ラ・ロシェル市の南西海岸通りを通過して、保健パス計画を非難するために行進した。

別の大規模な抗議が、フランスのリユ市北部で行われ、不平不満をもったデモ隊の洪水に襲われる、市の中心が映し出された。

20 万人ほどの抗議者は、フランス各都市の通りを攻撃する予定だった、と、いくつかの地方メディアは、警察のソースを通じて報じている。その時点まで、フランスの法執行部は、進行中の抗議行動のスケールについて、公的な評価を公表しようとしなかった。

この抗議行動の最後のラウンドは——数週間ずっとこの国を揺るがしていたが——フランスのトップ裁判所が、論争の多い法制度の総括案のほとんどを、合憲と判断するに至って、

決着した。この法制度は、木曜日に法廷によって承認され、月曜日には効力を得ると期待されている。

法廷はいくつかの項目を切り落としたが、最も論争が多かったものにゴーサインを与えた。その中には、一般大衆に対する命令的な保健パスの実現が含まれているが、それは、ほとんどの公的な法の立場を、満足させるように要求されている。この法制化はまた、命令的なコロナウィルスのワクチン接種を、第一線で働くヘルスケア・ワーカーと、また、ある種のフランス市民のカテゴリーのために、実現させるものである。

この法制化を批判する人々は、政府が市民権を踏みにじり、「独裁制」に向かうものでさえあると非難したが、政府側は、この包括案は、ワクチン接種を奨励するだけのものにすぎないと主張している。

急きよ追加のトピックス:-

U. S. News

「CDC 所長が認める：〈Covid 入院患者の死者の 99%以上が、ワクチン未接種者だった〉という主張は、全くのウソだった」

<https://www.infowars.com/posts/cdc-director-admits-claim-that-over-99-of-in-hospital-covid-deaths-were-among-unvaccinated-people-was-junk/>

[Gretchain]

これによってワクチンの解釈は大きく変わると思われる。前に、ファイザー社の元副社長マイケル・イードン（イェードンでなかった）博士の内部告発によって、ワクチンへの大きな疑惑が起こったが、このワレンスキー所長の CDC は、ファイザーのような私企業に許可を与える立場の国家機関であり、所長自身がその告発をするということは、それに基づくすべてが崩壊するということであろう。これによって弾圧的な世界的ワクチン運動も、mRNA 実験“ワクチン”に異論を唱えて、無視されてきた正当な科学者たちも、広く見直されることになり、強化されていくコロナウィルスそのものへの解決の道も開かれると思われる。